

【資料2】

平群町  
地域支援事業について

平成31年2月

平群町 福祉課

## 目 次

---

1. 一般介護予防事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1~2
2. 認知症総合支援事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・3~7
3. 在宅医療・介護連携推進事業について・・・・・・・・・・・・8
4. 生活支援体制整備事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

## 認知症総合支援事業実績

目的：認知症になっても安心して暮らせる地域づくり

### 1. 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

#### ① 認知症サポーターの養成

認知症について正しく理解し、温かく見守り支援する応援者の養成

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度 (1月末)
実施回数	6回	7回	15回	15回	14回
サポーター 数	202名	180名	371名 (内キッズ* 163名)	360名 (内キッズ* 134名)	327名 (内キッズ* 130名)
キャラバンメイト 実働数	5名	8名	15名	15名	15名

平成31年度1月末現在 総サポーター数 1,367名 (内キッズ\*サポーター 427名)

#### ② 認知症講演会の開催

28年度	わかる・出来る認知症対策	47名
29年度	認知症患者を理解する～認知症の事をもっと知ろう～	55名
30年度	認知症になっても安心して生活できる地域づくり	55名

#### ③ 認知症の啓発

28年度	認知症のサインや原因・対応・予防等についてのリーフレットを作成し、5月号広報に折込し、全戸配布
29年度	9月号広報に特集を組み一面掲載にて啓発
30年度	認知症に関するリーフレットを窓口に配架 地域包括や福祉課での出前講座にて認知症についての情報を発信

## 2. 認知症の容態に応じたサービスの提供

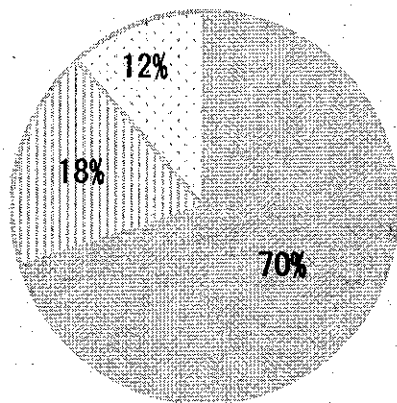
### ① 認知症スクリーニングソフト(町ホームページに掲載)

H27年7月より実施。簡単な質問に答えることで認知症のスクリーニングを行うことが出来るソフト。家族向けと本人向けの2種類がある。

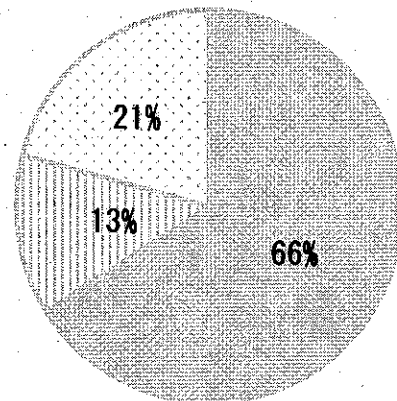
	27年度	28年度	29年度	30年度 (1月末)
本人向けアクセス数	2,277件	2,566件	1,747件	1,248件
家族向けアクセス数	2,850件	2,876件	1,570件	1,115件

### H30年度 スクリーニング結果

わたしも認知症？(本人向け)



これって認知症？(家族向け)



レベル1・・・物忘れによる正常範囲内  
 レベル2・・・要注意。心配であれば専門機関に相談しましょう。  
 レベル3・・・要診断。専門機関への相談や受診をしましょう。

### ② 認知症予防教室の開催

認知症予防わくわく教室 H28年度より開催10回1クール

年度	回数	延べ参加人数
28年度	10回	186人
29年度	21回	380人
30年度(H31.1末)	18回	314人



### ③ 認知症初期集中支援チームによる支援

医療や介護の専門家が家族などの訴えにより認知症が疑われる人や家族を訪問し、必要なサービス等の調整を集中的に行って自立支援のサポートを行います。

### ④ 認知症ケアパスの作成

認知症の発症予防から人生の最終期まで、認知症の進行状況に合わせてどのようなサービスを受ければよいのか流れを示したものを作成し、H30年2月全戸配布しました。利用促進の為、出前講座や住民等からの相談時、ケアマネジャーへ説明しています。

⑤ 認知症地域支援推進員の配置

現在地域包括支援センターで2名配置し、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関をつなぐコーディネーターを行っています。

3. 若年性認知症対策

- ① 若年性認知症の知識の普及・啓発
- ② 本人・支援者の居場所づくり（認知症カフェ）
- ③ 認知症初期集中支援チームによる支援

上記に関して高齢者認知症と同様に、啓発や支援を実施。

また、奈良県では平成29年8月21日より、奈良県若年性認知症サポートセンターを開設。若年性認知症に係る支援、各関係機関との連携、普及啓発等に取り組んでいます。

4. 介護をする方への支援

① 認知症相談や支援者の情報共有の場づくり

認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解しあう事が出来るよう、ボランティアの協力を得て、地域包括支援センターでH28年11月からカフェを実施。

● 認知症オレンジカフェ～心晴～

年度	回数	延べ参加者人数
28年度	5回	81人
29年度	12回	269人
30年度（H30.1末）	10回	284人



● 認知症家族交流会を開催 参加者 5名

② 認知症相談会の開催や相談できる場所の周知など

ハートランドしぎさん認知症疾患医療センターの専門職に来てもらい、H28年5月より毎月第3木曜日に平群町地域包括支援センターにて開催しています。

チラシの配布や社協だよりでの周知を行っています。

年度	回数	相談件数
28年度	11回	27名
29年度	12回	24名
30年度（H30.1末）	10回	16名

## 5. 認知症になっても安心して生活できる地域づくり

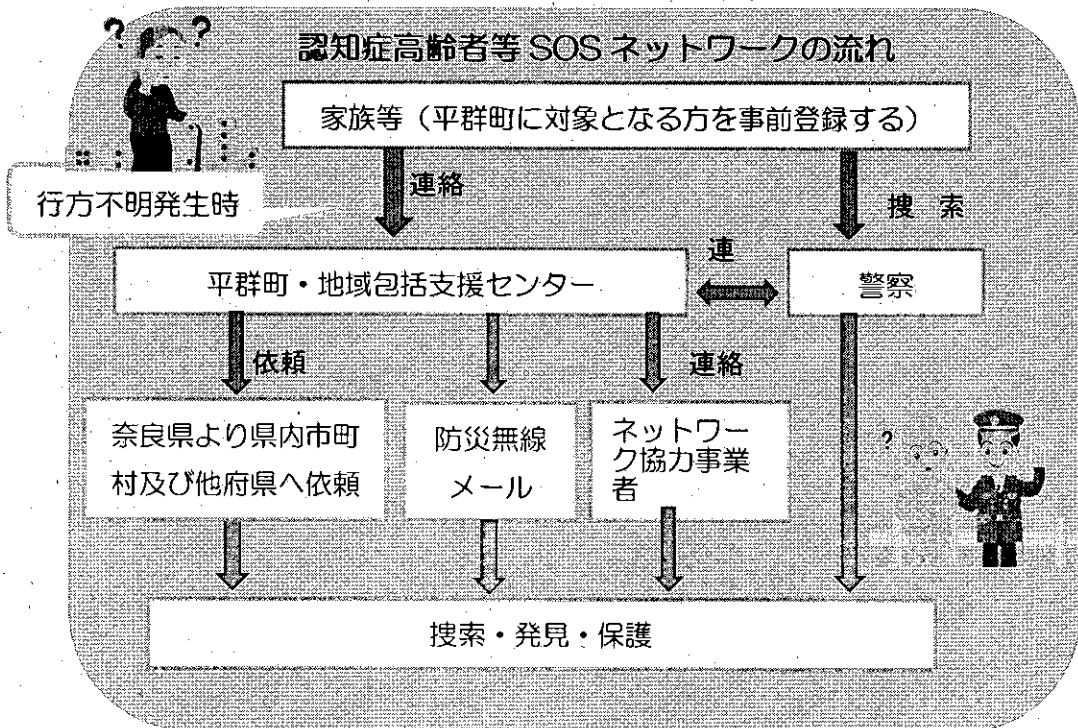
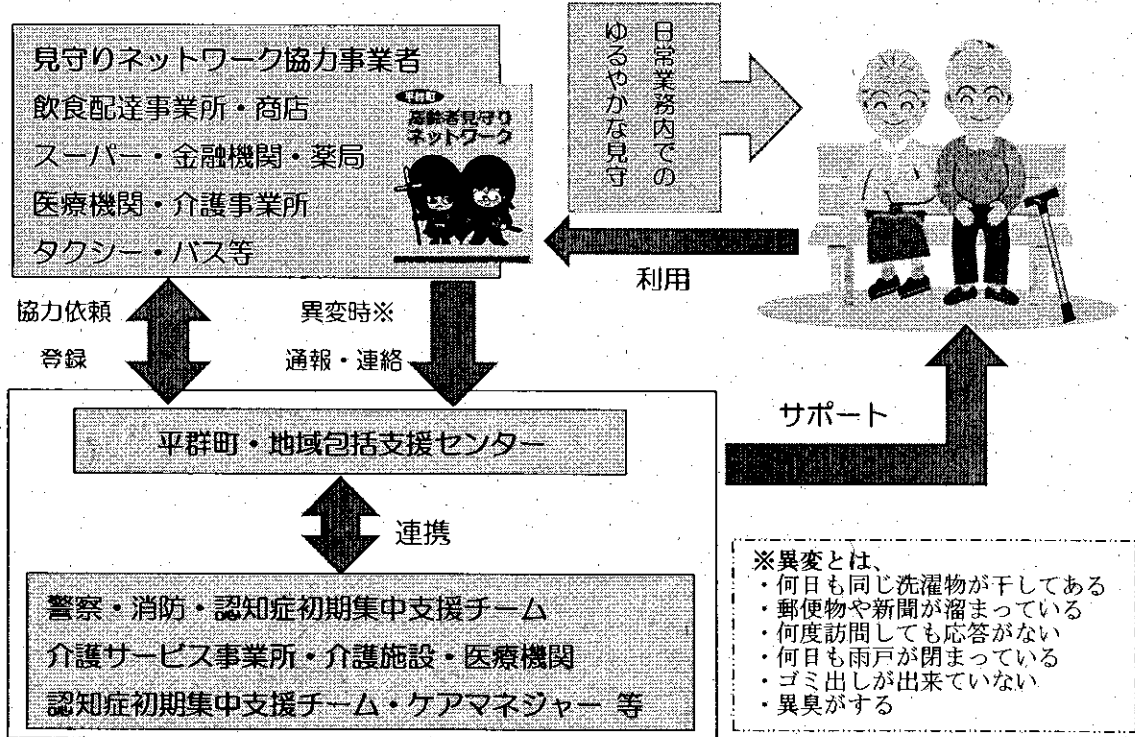
### ① 地域で見守るシステムづくり

1. 日頃から地域で見守る「高齢者見守りネットワーク」
2. 認知症の方が行方不明になった際に早期発見・保護する「認知症高齢者等 SOS ネットワーク」の2つの体制で高齢者や認知症の方の見守りを行っています。

H30年7月からQRコードシールの登録者への配布を開始しました。

登録者 13名

### 平群町高齢者見守りネットワークイメージ図



②権利擁護の推進

高齢者の消費者被害の防止および対応、判断能力を欠く状況にある人への支援を行う。

年度	内容	参加者数
28年度	成年後見制度の講演会	25人
29年度	高齢者の消費者被害についての講演会	23人
30年度	知ってそなえる老い支度講座	2月25日実施予定

在宅医療・介護連携推進事業 進捗状況及び実績

目標：医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の医療・介護が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築する

事業項目	H30年度実績・予定
地域の医療・介護の資源の把握	生駒郡4町と生駒地区医師会と協働し在宅医療介護資源集を作成。2月完成予定
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒地区医師会と生駒郡4町の関係者等が集まり地域ケア会議を開催 2回</li> <li>・西和7町の医療、行政関係者が集まり西和メディケアフォーラムを開催 1回</li> </ul>
切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	
在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	
在宅医療・介護連携に関する相談支援	在宅療養支援室を活用
医療・介護関係者の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と介護の連携シートの活用</li> <li>・入退院連携マニュアルの見直しと活用</li> </ul>
医療・介護関係者の研修	医療・介護関係者が参加し多職種勉強会を開催 2回
地域住民への普及啓発	・2/16市民公開講座開催予定



## 生活支援体制整備事業 進捗状況及び実績

### □事業の目的

日常生活上の支援が必要な高齢者などが、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、平群町が中心となり多様な事業主体と連携しながら日常生活上の支援体制の充実・強化及び社会参加の推進を行うことを目的とする。

### □進捗状況

生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、平群町が主体となって多様な事業主体の参画のもと「定期的な情報の共有・連携強化の場」として「生活支援体制整備事業協議体（第1層）」が平成28年6月20日に設置され、協議を行っている。

平成30年度は、「地域での見守り体制の構築」、「地域の支え合い活動の推進」を自治会単位・住民の互助の活動で実施する「平群町安心見守り事業」を平成30年4月1日より開始した。事業の活動者としては、各自治会より推薦され平群町長により委嘱を行う「平群町地域支え合い推進員」を設置し、関係機関との協働のもと、定期的に見守りが必要な高齢者などを対象とし、地域内での見守り活動などを実施した。

今後は、協議体構成団体の協力のもと、平群町の地域資源について把握し地域住民に周知を行うなど、既存の活動内容の充実・発展のために必要とされる支援や、地域住民や関係機関・団体が関わり実施する住民主体の多様な助け合い活動の発展についての支援を行う。

### ○平群町安心見守り事業について（実績報告） 【平成31年1月31日現在】

登録者数	95名（78世帯）					
内 訳	一人暮らし高齢者	51名				
	高齢者のみ世帯	34名				
	その他	10名	（内訳：日中独居8名・障害者1名・若年者1名）			
性 別	男性	28名				
	女性	67名				
要介護度	自立	30名	要支援1	32名	要介護1	8名
	事業対象者	1名	要支援2	13名	要介護2	8名
					要介護3	0名
					要介護4	3名
					要介護5	0名



申請者宅を訪問する地域支え合い推進員と民生児童委員



見守り方法などについて協議する地域支え合い推進員と民生児童委員